

Ⅰ 子どもたちを支える環境づくり

～学校と保護者との協力～

◇基礎・基本的な生活習慣について

- ・ 基礎・基本的な生活リズムの安定が学習意欲を高めます
- ・ 計画的な学習によって、学びの定着が図られます
- ・ 課題に対して粘り強く取り組む

◇主体的な学習を支える基盤づくりについて

- ・ 主体的な学習を支える基盤づくり
- ・ 資質・能力の育成に向けて ICT を効果的に活用する

基礎・基本的な生活リズムの安定が学習意欲を高めます

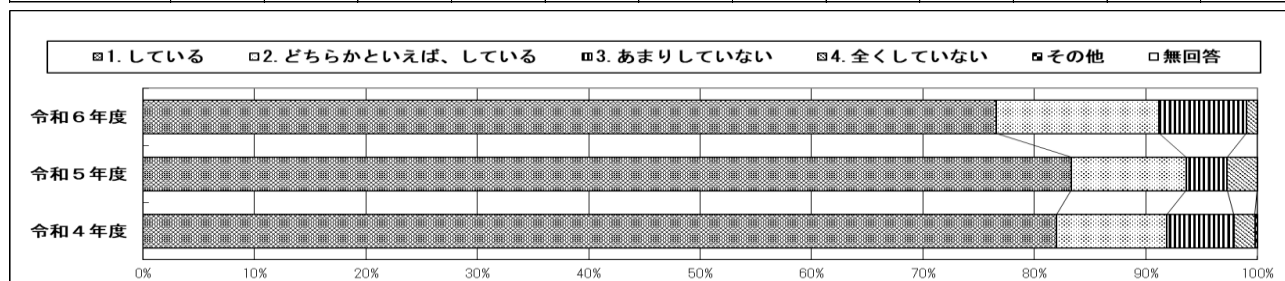
子どもたちが健やかに成長していくためには、調和のとれた食事、十分な休養・睡眠が大切です。早寝・早起きを中心とした生活リズムを安定させるためには、家庭の支えが大きく関わってきます。家庭での協力を得て、児童・生徒が規則正しい生活を送ることができ、学校での学習においても集中力を発揮し、取り組むことができます。

以下は児童・生徒質問紙調査での、児童・生徒の基本的生活習慣についての項目です。

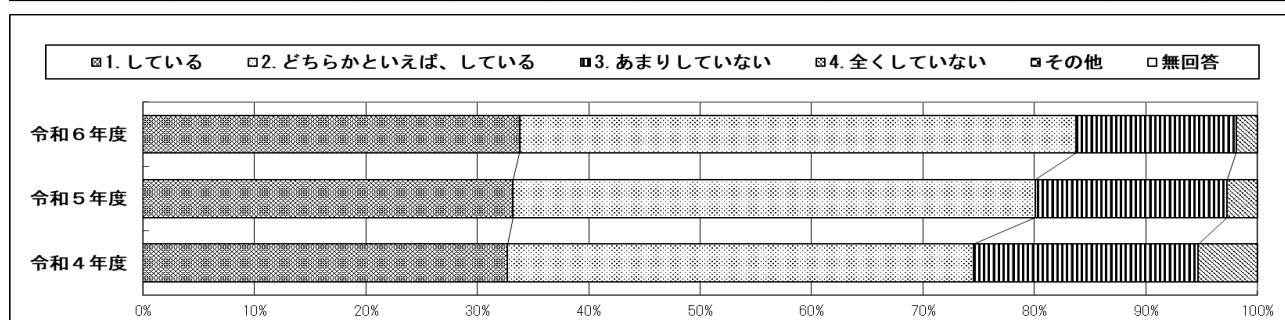
【児童・生徒質問紙（１）「朝食を毎日食べていますか」】、【児童・生徒質問紙（２）「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」】、【児童・生徒質問紙（３）「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」】については、多くの子どもたちが、毎日しっかりと朝ごはんを食べ、決まった時刻に起きる規則正しい生活を送っていることがわかります。小学校では、朝食を食べている児童の割合、決まった時刻に起きている児童の割合は前年度と比べると増加しています。規則正しい生活を送ることが習慣化することにより、子どもたちは学校での授業においても、集中して取り組むことができます。一方、中学校では、朝食を食べている生徒の割合が減少していることが気になります。今後も注意して見ていくことが必要です。これからも、「早寝・早起き・朝ごはん」を合言葉に取り組んでいきます。

【小学校児童質問紙】

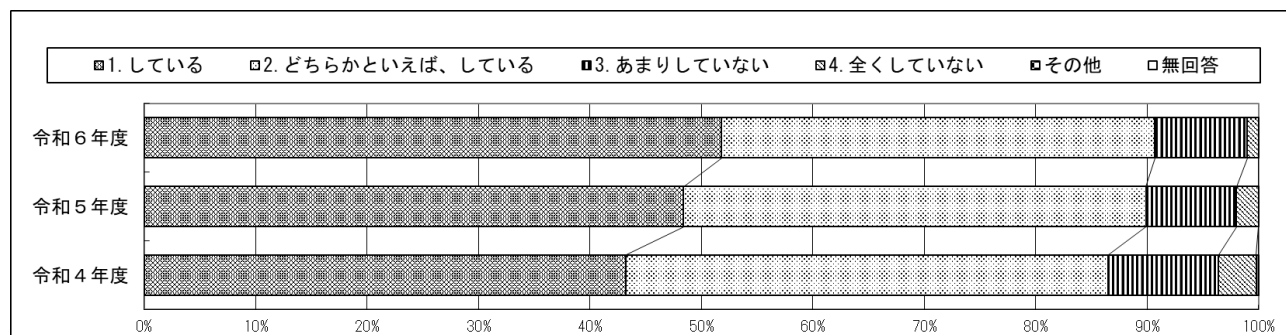
質問番号	質問事項											
(１)	朝食を毎日食べていますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	当てはまる(1+2)	9	10	その他	無回答
令和６年度	76.6	14.6	7.8	1.0				91.2			0.0	0.0
令和５年度	83.3	10.3	3.7	2.7				93.6			0.0	0.0
令和４年度	82.0	9.9	6.0	1.9				91.9			0.2	0.0



質問番号	質問事項											
(２)	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	当てはまる(1+2)	9	10	その他	無回答
令和６年度	33.8	49.9	14.4	1.9				83.7			0.0	0.0
令和５年度	33.2	46.9	17.2	2.7				80.1			0.0	0.0
令和４年度	32.7	41.8	20.2	5.3				74.5			0.0	0.0

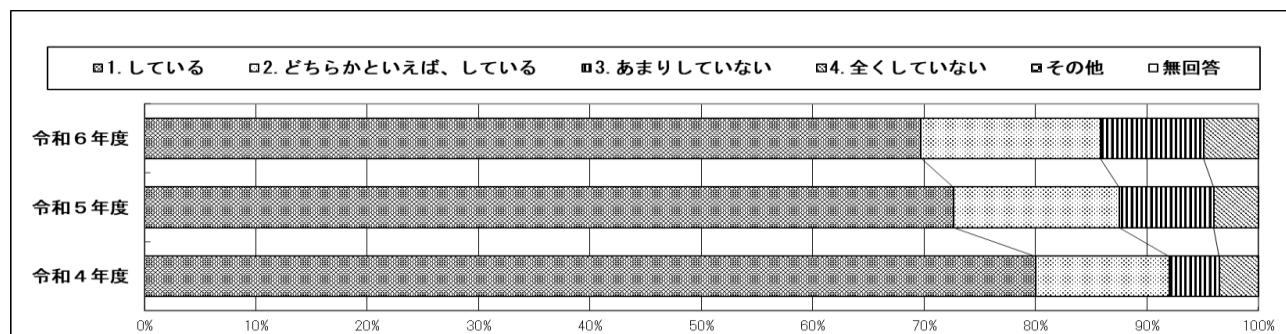


質問番号	質問事項											
(3)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	当てはまる(1+2)	9	10	その他	無回答
令和6年度	51.8	38.9	8.3	1.0				90.7			0.0	0.0
令和5年度	48.4	41.5	8.1	2.0				89.9			0.0	0.0
令和4年度	43.3	43.3	9.9	3.4				86.6			0.2	0.0

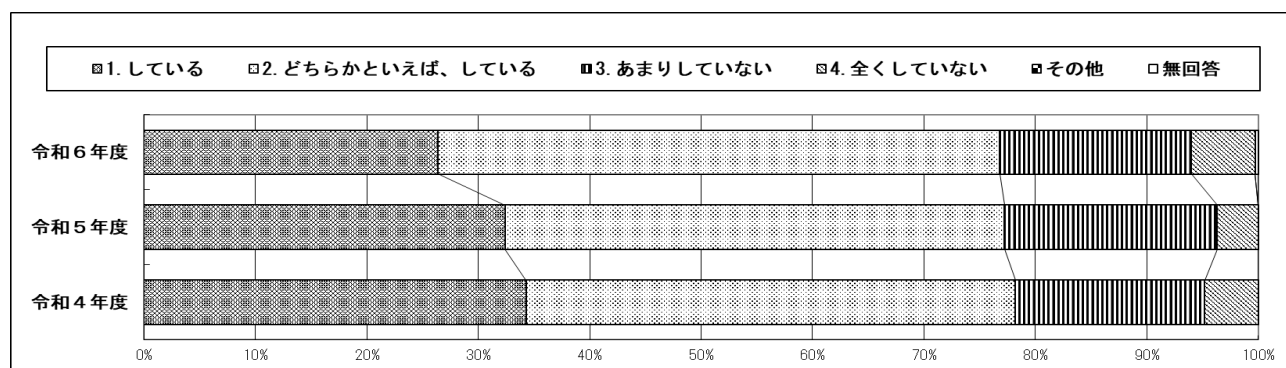


【中学校生徒質問紙】

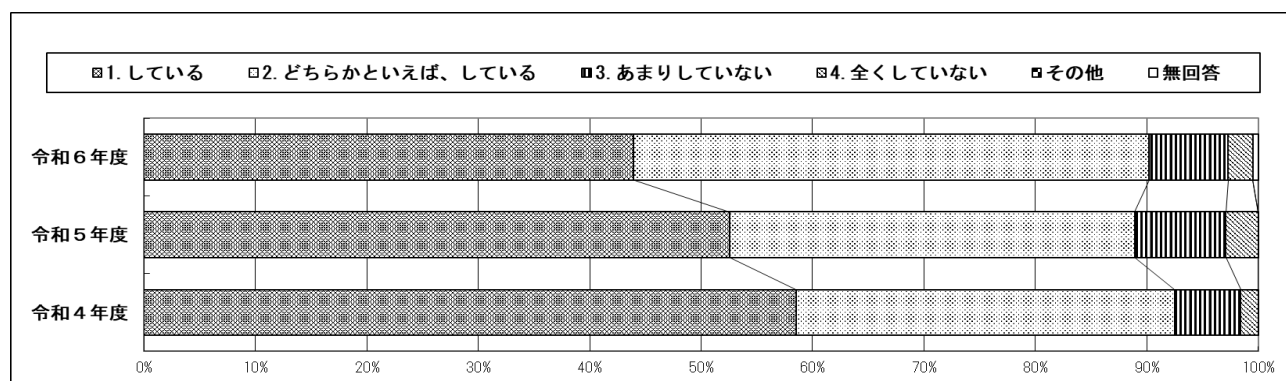
質問番号	質問事項											
(1)	朝食を毎日食べていますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	当てはまる(1+2)	9	10	その他	無回答
令和6年度	69.8	16.1	9.3	4.9				85.9			0.0	0.0
令和5年度	72.7	14.9	8.5	4.0				87.6			0.0	0.0
令和4年度	80.1	12.0	4.5	3.5				92.1			0.0	0.0



質問番号	質問事項											
(2)	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	当てはまる(1+2)	9	10	その他	無回答
令和6年度	26.4	50.4	17.2	5.7				76.8			0.0	0.3
令和5年度	32.4	44.8	19.1	3.7				77.2			0.0	0.0
令和4年度	34.3	43.9	17.0	4.8				78.2			0.0	0.0



質問番号	質問事項											
(3)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	当てはまる(1+2)	9	10	その他	無回答
令和6年度	43.9	46.3	7.1	2.2				90.2			0.0	0.5
令和5年度	52.5	36.3	8.2	2.9				88.8			0.0	0.0
令和4年度	58.5	34.0	5.9	1.6				92.5			0.0	0.0



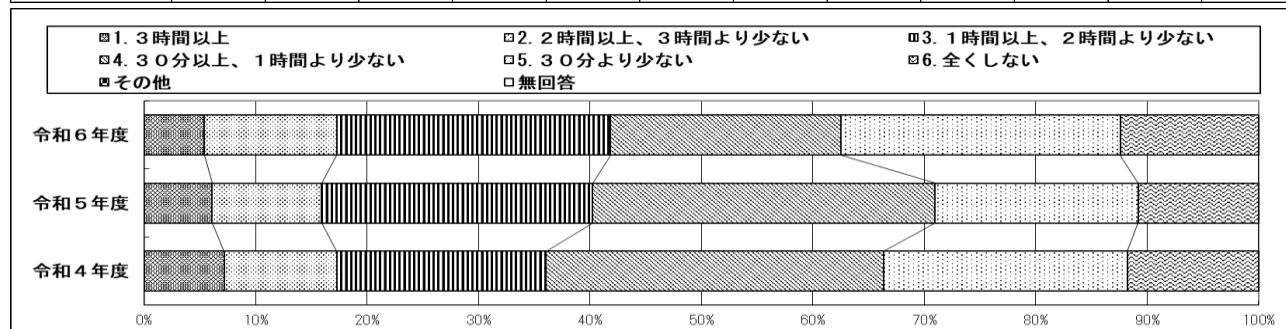
計画的な学習によって、学びの定着が図られます

今年度、【児童質問紙（21）「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）」】から、家庭学習において1時間以上勉強をしている児童については、年々増加の傾向が見られます。また【生徒質問紙（21）「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）」】においては、昨年度より学習時間がやや減っている傾向が見られます。

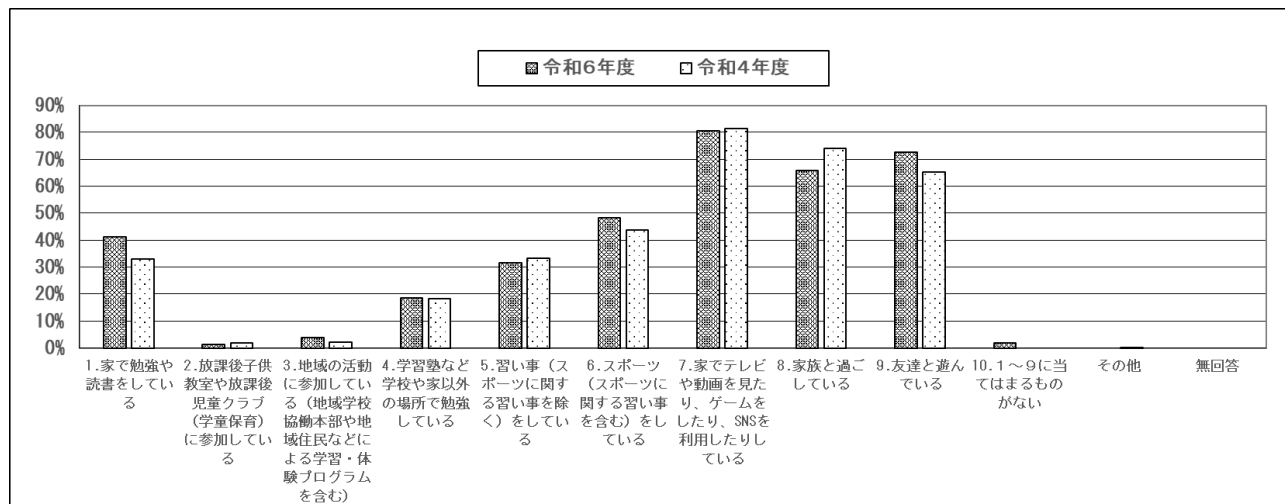
家庭において計画的に学習することで、学校で学んだことを習得することができ、また日々の積み重ねにより学習の定着が図られます。家庭で学習に取り組む習慣を身に付けることによって、学習習慣だけでなく、学習意欲にもつながります。学校から帰宅した後の時間の過ごし方について、今一度考える機会を家庭でもつことが大切です。

【小学校児童質問紙】

質問番号	質問事項											
(21)	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
令和6年度	5.4	11.9	24.6	20.7	25.1	12.4					0.0	0.0
令和5年度	6.1	9.8	24.3	30.7	18.2	10.8					0.0	0.0
令和4年度	7.2	10.1	18.8	30.3	21.9	11.8					0.0	0.0

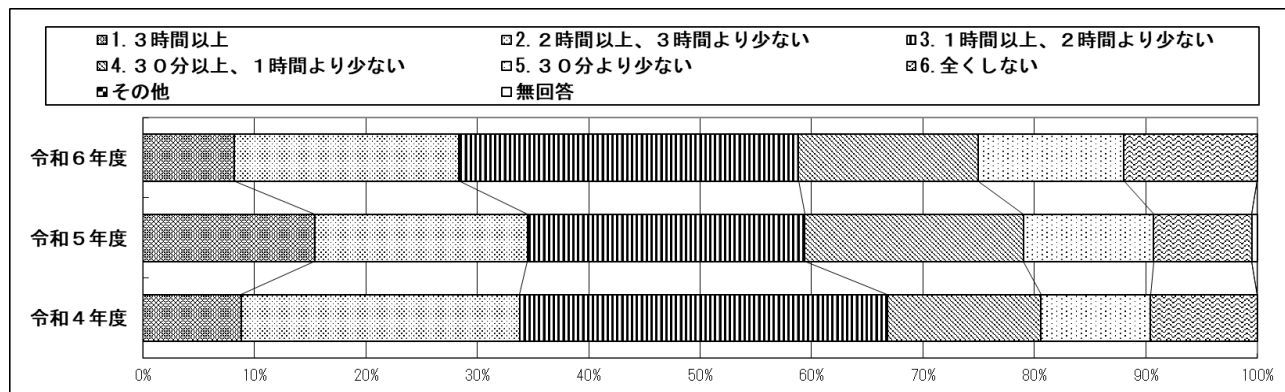


質問番号	質問事項											
(26)	放課後や週末に何をして過ごすことが多いですか（複数選択）											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
令和6年度	41.1	1.2	3.9	18.7	31.6	48.2	80.5	65.7	72.7	1.9	0.0	0.0
令和4年度	32.9	1.9	2.2	18.3	33.2	43.8	81.5	74.0	65.4		0.2	0.0

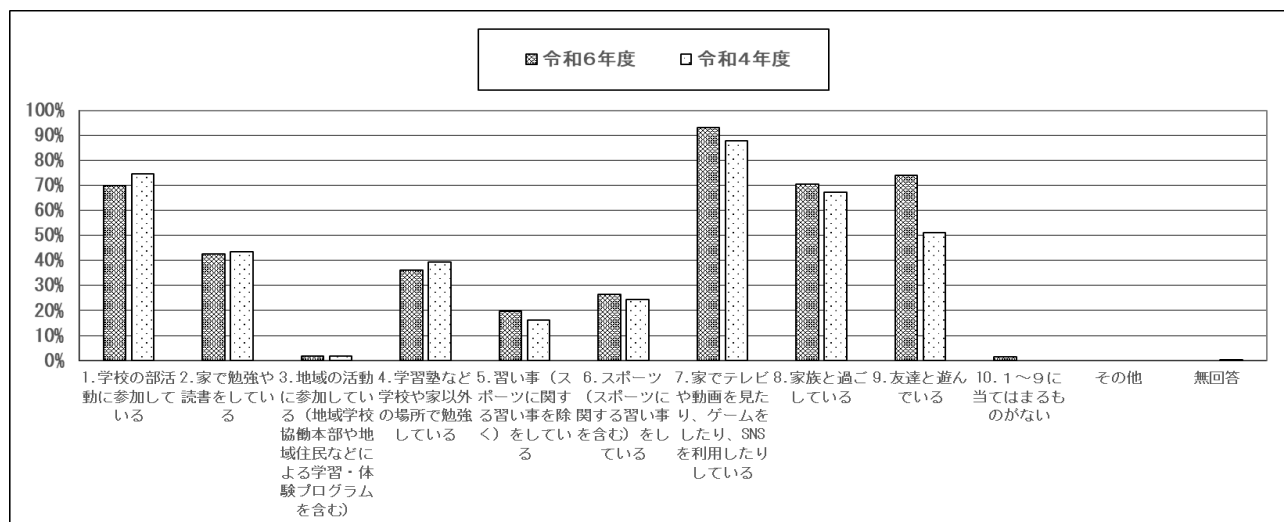


【中学校生徒質問紙】

質問番号	質問事項											
(21)	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間を含む）											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
令和6年度	8.2	20.2	30.5	16.1	13.1	12.0					0.0	0.0
令和5年度	15.4	19.1	24.9	19.6	11.7	8.8					0.0	0.5
令和4年度	8.8	25.0	33.0	13.8	9.8	9.6					0.0	0.0



質問番号	質問事項											
(26)	放課後や週末に何をして過ごすことが多いですか（複数選択）											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
令和6年度	70.0	42.5	1.9	36.2	19.6	26.4	93.2	70.6	74.1	1.4	0.0	0.0
令和4年度	74.7	43.4	1.9	39.4	16.2	24.5	88.0	67.3	51.1		0.0	0.3

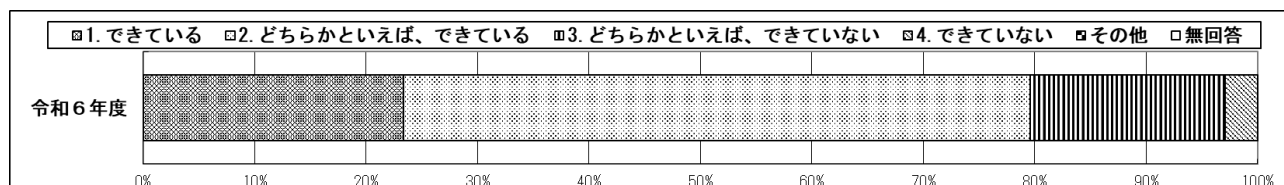


課題に対して多面的に取り組む

【児童・生徒質問紙（20）「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか」】という項目では、約80%の児童・生徒が自分で学び方を考え、工夫しながら学習を進めており、課題に対して、分かるまで理解しようと粘り強く取り組んでいることが伺えます。理解するまでの過程については個人差があり、様々な手段や方法があります。本で調べる、ICT機器を活用したりする等、自分に合った学び方を見つけ、個別最適な学びを行うことができるよう指導していきます。

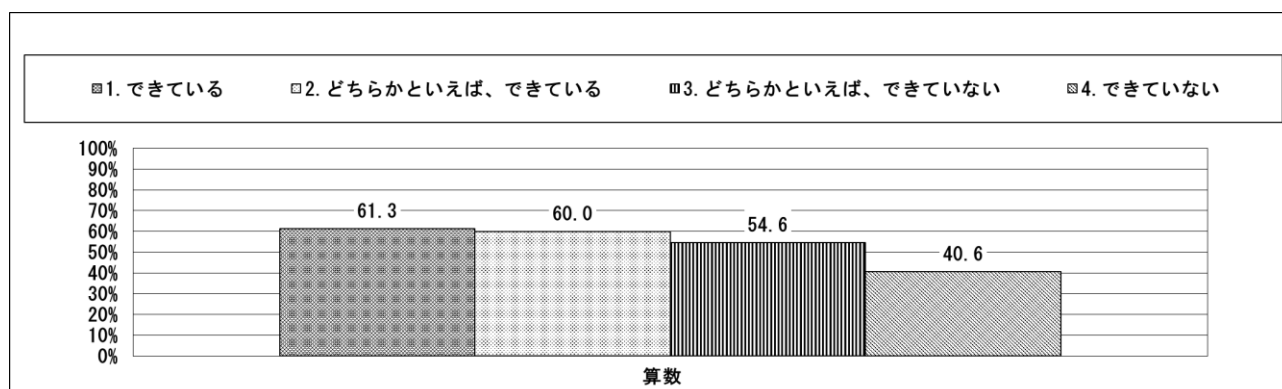
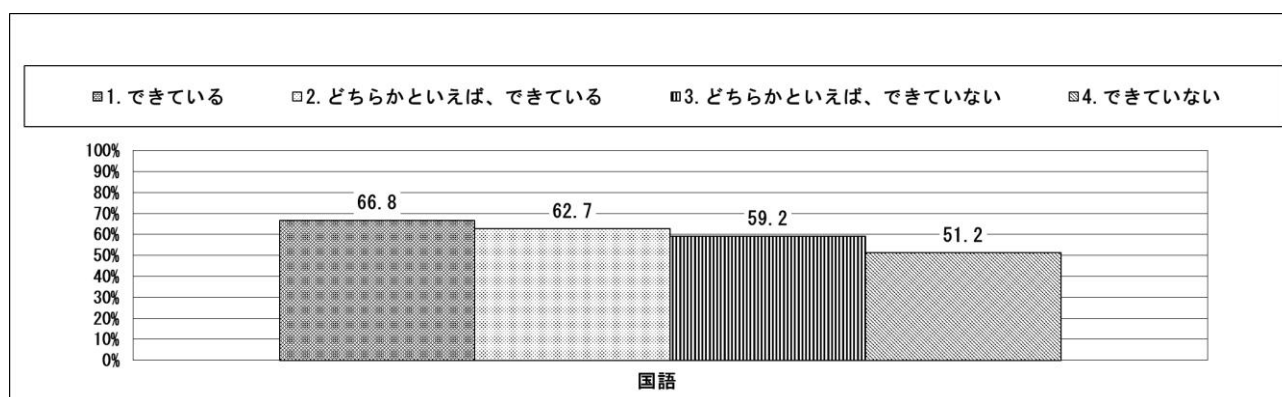
【小学校児童質問紙】

質問番号	質問事項											
(20)	分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	当てはまる(1+2)	9	10	その他	無回答
令和6年度	23.4	56.2	17.5	2.9				79.6			0.0	0.0



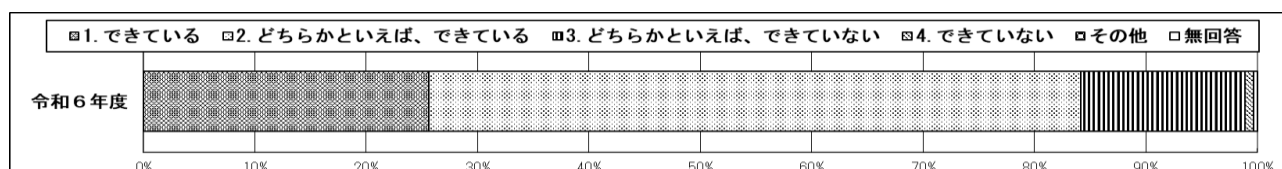
【クロス集計 小学校】

選択肢		児童数	児童数の割合 (%)	平均正答率 (%)	
				国語 (14問)	算数 (16問)
1	できている	95	23.8	66.8	61.3
2	どちらかといえば、できている	223	55.9	62.7	60.0
3	どちらかといえば、できていない	69	17.3	59.2	54.6
4	できていない	12	3.0	51.2	40.6
その他（選択肢以外の回答や複数回答（複数回答質問を除く）されたもの）		0	0.0	—	—
無回答		0	0.0	—	—
合計		399	100.0	62.8	58.8



【中学校生徒質問紙】

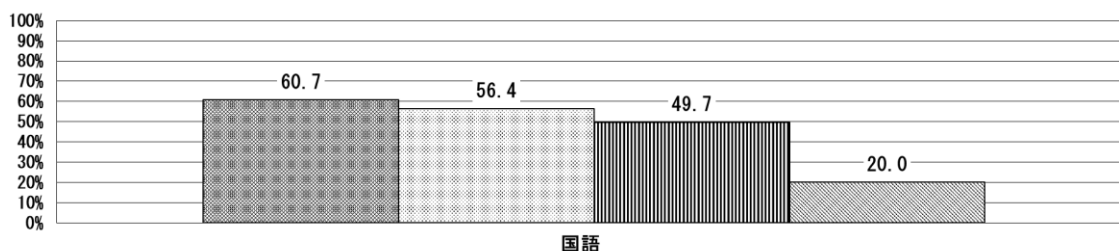
質問番号	質問事項											
(20)	分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	当てはまる(1+2)	9	10	その他	無回答
令和6年度	25.6	58.6	14.7	0.8				84.2			0.0	0.3



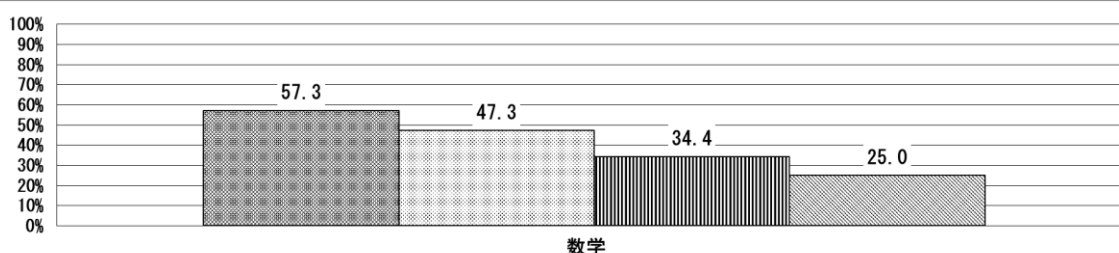
【クロス集計 中学校】

選択肢		生徒数	生徒数の割合 (%)	平均正答率 (%)	
				国語 (15問)	数学 (16問)
1	できている	91	25.8	60.7	57.3
2	どちらかといえば、できている	211	59.8	56.4	47.3
3	どちらかといえば、できていない	49	13.9	49.7	34.4
4	できていない	1	0.3	20.0	25.0
その他 (選択肢以外の回答や複数回答 (複数回答質問を除く) されたもの)		0	0.0	—	—
無回答		1	0.3	—	—
合計		353	100.0	56.5	48.0

■1. できている ■2. どちらかといえば、できている ■3. どちらかといえば、できていない ■4. できていない



■1. できている ■2. どちらかといえば、できている ■3. どちらかといえば、できていない ■4. できていない



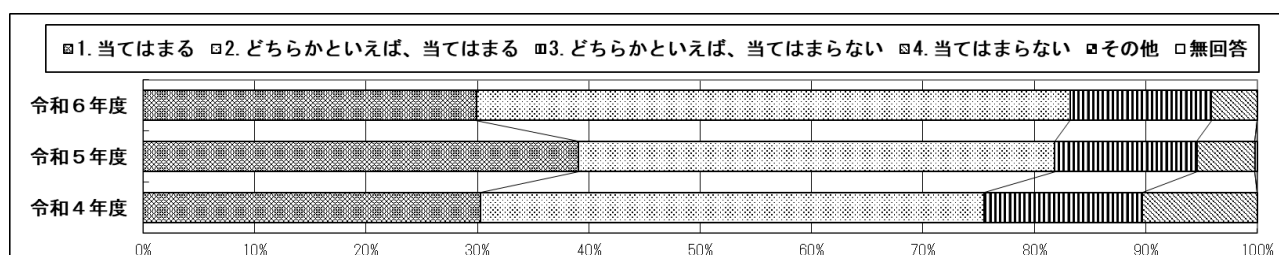
主体的な学習を支える基盤づくり

児童・生徒が相互によさを認め合い、励まし合い、支え合う人間関係は、学級・学校の基盤であり、生きる原動力となります。児童・生徒が充実した学校生活を送るためには、「自分のことが好き」と思う気持ち（自尊感情）を育み、学級・学校を構成する一員であるという所属感を持たせ、周りから認められているという充実感を味わわせるようにすることが必要です。

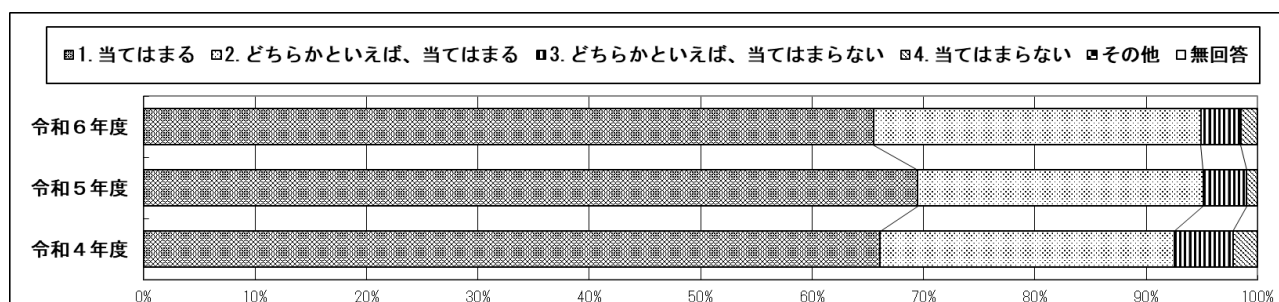
【児童・生徒質問紙(9)「自分には、よいところがあると思いますか」】では、多くの児童・生徒がよいところがあると回答しており、自尊感情が育まれるような学級・学校の中で学校生活を送ることができる児童・生徒が増えてきています。また、【児童・生徒質問紙(15)「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」】においても高い割合で当てはまると回答しています。これまで寒川町が各学級・学校において積極的に取り組んできた道徳教育や人権教育をはじめとする様々な教育活動の成果とも言えます。この強みを生かして、さらに学びの場をよい環境にできるよう取組を継続していくことが大切です。

【小学校児童質問紙】

質問番号	質問事項											
(9)	自分には、よいところがあると思いますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	当てはまる(1+2)	9	10	その他	無回答
令和6年度	29.9	53.3	12.7	4.1				83.2			0.0	0.0
令和5年度	39.1	42.8	12.8	5.2				81.9			0.0	0.2
令和4年度	30.3	45.2	14.2	10.3				75.5			0.0	0.0

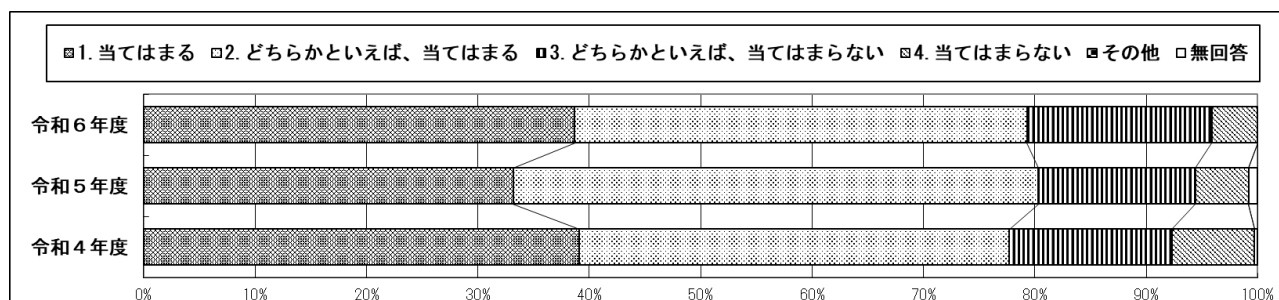


質問番号	質問事項											
(15)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	当てはまる(1+2)	9	10	その他	無回答
令和6年度	65.5	29.4	3.6	1.5				94.9			0.0	0.0
令和5年度	69.5	25.6	3.9	1.0				95.1			0.0	0.0
令和4年度	66.1	26.4	5.3	2.2				92.5			0.0	0.0

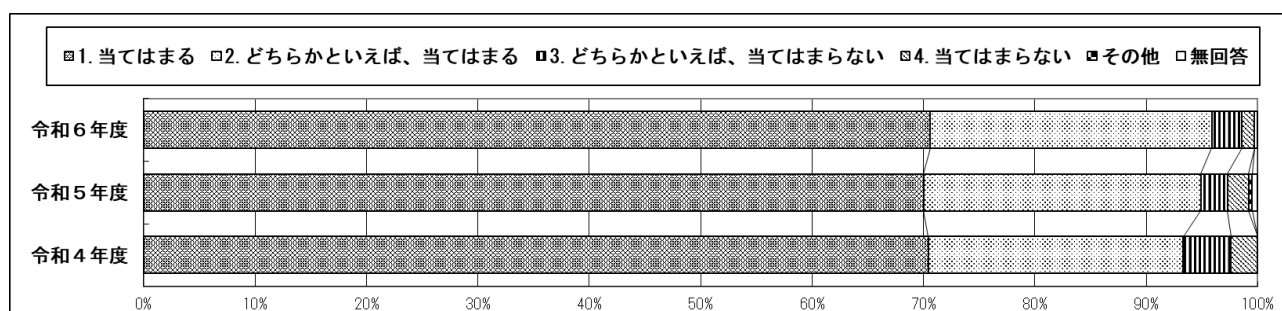


【中学校生徒質問紙】

質問番号	質問事項											
(9)	自分には、よいところがあると思いますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	当てはまる(1+2)	9	10	その他	無回答
令和6年度	38.7	40.6	16.6	4.1				79.3			0.0	0.0
令和5年度	33.2	47.2	14.1	4.8				80.4			0.0	0.8
令和4年度	39.1	38.6	14.6	7.4				77.7			0.0	0.3



質問番号	質問事項											
(15)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	当てはまる(1+2)	9	10	その他	無回答
令和6年度	70.6	25.3	2.7	1.1				95.9			0.0	0.3
令和5年度	70.0	24.9	2.4	1.9				94.9			0.3	0.5
令和4年度	70.5	22.9	4.3	2.4				93.4			0.0	0.0



また、【児童・生徒質問紙（17）「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」】では、楽しいと感じた児童・生徒が増えてきている傾向が見られます。

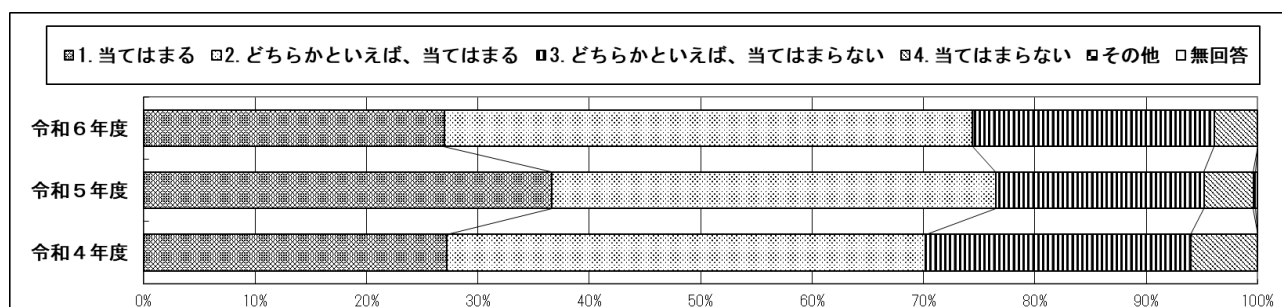
授業の中で、児童・生徒は自分の考えを发表或し、自分の意見とは異なる他者の意見を聞いたりすることで、学びがより広がりさらに深まっています。

1人1台のタブレット端末を活用した授業の展開により、友達の意見を学級全体で共有することができる表れが伺え、学習指導要領にもあります、「主体的・対話的で深い学び」を行うためには、まずは児童・生徒が自分の意見をもつこと、そして自分の意見を伝えることができる学級の環境が大切です。

今後も、学校生活の基盤となる、学級づくりに丁寧に取り組んでいきます。

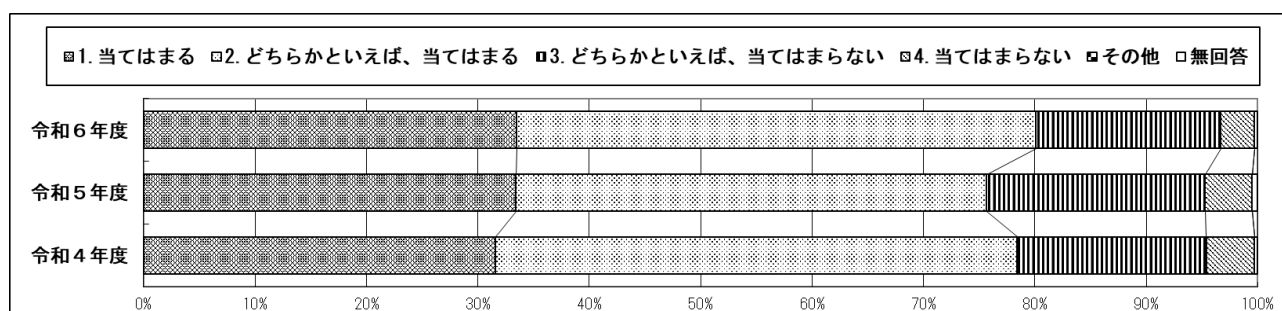
【小学校児童質問紙】

質問番号	質問事項											
(17)	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	当てはまる(1+2)	9	10	その他	無回答
令和6年度	27.0	47.4	21.7	3.9				74.4			0.0	0.0
令和5年度	36.6	39.8	18.7	4.4				76.4			0.2	0.2
令和4年度	27.2	43.0	23.8	6.0				70.2			0.0	0.0



【中学校生徒質問紙】

質問番号	質問事項											
(17)	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	当てはまる(1+2)	9	10	その他	無回答
令和6年度	33.5	46.6	16.6	3.0				80.1			0.0	0.3
令和5年度	33.4	42.2	19.6	4.2				75.6			0.0	0.5
令和4年度	31.6	46.8	17.0	4.3				78.4			0.0	0.3



資質・能力の育成に向けて I C T 機器を効果的に活用する

小学校、中学校共に、【児童・生徒質問紙（28－4）「5年生まで（1・2年生のとき）の学習の中で PC・タブレットなどの ICT 機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。（4）画像や動画、音声等を活用することで、学習内容がよく分かる】や、【児童・生徒質問紙（28－7）「5年生まで（1・2年生のとき）の学習の中で PC・タブレットなどの ICT 機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。（7）友達と協力しながら学習を進めることができる】から、I C T 機器は、授業の中で学習の理解の手助けをするツールとして活用されており、G I G A スクール構想の実現に向けて環境整備が進み、学校における授業改善も着実に進んできていることを示しています。

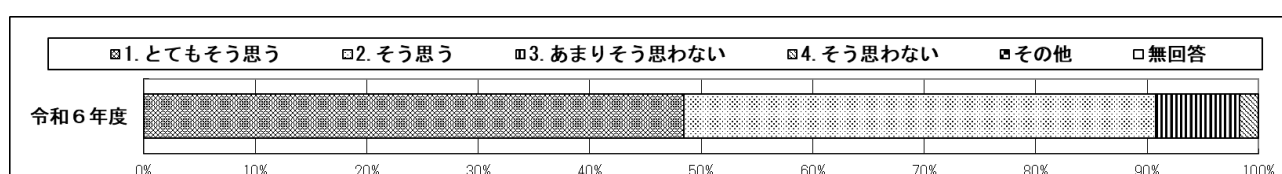
学習指導要領では、学習の基盤となる資質・能力の一つに情報活用能力を位置づけ、各教科における I C T 機器を活用した学習活動の一層の充実を目指しています。

しかし、I C T 機器の活用は、授業改善の一手段であるため、「I C T 機器を使うこと」が目的ではなく、I C T 機器の特性や強みを生かして、授業のねらいを達成させるために活用する「学びの支援ツール」という視点をもつことが大切です。

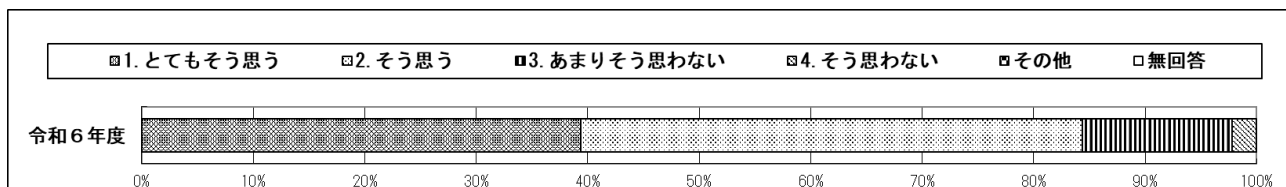
I C T を使って意見を共有した後は、もう一度自分自身の考えを深める時間を取り、再度考えをまとめて書くことで、深い学びとなります。また、深い学びを支える土台となるのは基礎的・基本的な学びの習得です。「漢字を書く」「計算問題を解く」などの基礎基本の土台があってこそ活用の力が積み重なっていきます。今後も、授業の中でより一層効果的に I C T 機器を活用していく必要があります。

【小学校児童質問紙】

質問番号	質問事項											
(28－4)	5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。（4）画像や動画、音声等を活用することで、学習内容がよく分かる											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	当てはまる(1+2)	9	10	その他	無回答
令和6年度	48.4	42.3	7.5	1.7				90.7			0.0	0.0

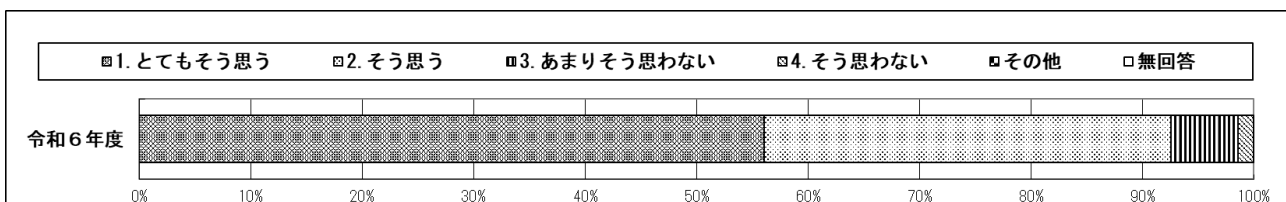


質問番号	質問事項											
(28-7)	5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。(7)友達と協力しながら学習を進めることができる											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	当てはまる(1+2)	9	10	その他	無回答
令和6年度	39.4	45.0	13.4	2.2				84.4			0.0	0.0



【中学校生徒質問紙】

質問番号	質問事項											
(28-4)	1、2年生のときの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。(4)画像や動画、音声等を活用することで、学習内容がよく分かる											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	当てはまる(1+2)	9	10	その他	無回答
令和6年度	56.1	36.5	6.0	1.4				92.6			0.0	0.0



質問番号	質問事項											
(28-7)	1、2年生のときの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。(7)友達と協力しながら学習を進めることができる											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	当てはまる(1+2)	9	10	その他	無回答
令和6年度	45.0	42.5	9.5	2.5				87.5			0.0	0.5

